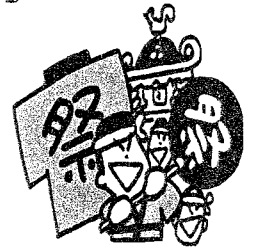


あきやま子どもクリニックニュース2016年9月号

夏休みが終わり、2学期の始まりです。長く休んでいると、学校の規則正しい生活ができるかどうか不安になったり、宿題ができていなければ行きにくくなったりしますが、「そういうときは〇〇しよう」と解決策を話し合っただけの準備をしていくといいでしょう。



院長より

「保護者の勘」



お子さんの様子は、毎日一緒に生活している保護者の方が一番知っています。「いつもと違う」というその勘は大抵当たっています。その情報はとても貴重で、診療にとっても役立ちます。

どうぞ遠慮なく、「いつもと〇〇が違う」とお伝え下さい。

そのためには、家庭での規則正しい生活が、お子さんの変化を気付きやすくしてくれます。

「いつもより食べない」「いつもより眠そう」

「いつもより機嫌が悪い」「いつもより元気がない」

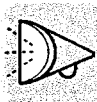
「いつもより・・・」など、教えて下さい。

最近の流行っている病気

ヘルパンギーナや手足口病が多いです。咳や喘鳴がひどいRSウイルス感染も流行しています。嘔吐・下痢症もあります。とびひ(伝染性膿痂疹)も多いです。

その他、突発性発疹、溶連菌感染症流行性耳下腺炎がみられています。

お知らせ



「インフルエンザの予防接種について」

接種は10月初旬から開始します。接種方法については、ホームページをご覧ください。(3歳以上は1回接種)

接種料金は5000円

(2回目の接種料金は4000円)

当院をかかりつけ医に指定された方は会員ホームページをご覧ください。



病児保育室便り

病児保育室を利用するお子さんは、みんな色々な性格をしています。スタッフに対する接し方もそれぞれ異なり、すぐに慣れて甘えてくるお子さんもいれば、なかなか近づく事もできず泣いてしまうお子さんもいます。すべて同じ関わり方では不安が大きくなってしまいます。スタッフはお子さん一人一人の性格をみて、そのお子さんが安心して過ごせるような関わりを心がけています。

(文責 千葉美香)

訪問看護ステーション

子どもにとって遊びは心身の発達において重要な役割があります。在宅で過ごす子どもたちにとっても、遊びは重要な意味を持ち、知性、情緒、コミュニケーション、運動などの能力を発達させるものとなります。しかし、健康状態が不安定で医療ケアを伴う在宅生活の中で、遊ぶ機会は一般の子どもたちに比べ、少なくなってしまうます。状態に合わせて、日頃より訪問時には遊ぶ経験を増やしたいと思っています。(文責 梅田可愛)

今月の代診と休診



| | | |
|--------|------|------|
| 6日(火) | 午後診療 | 宗像先生 |
| 7日(水) | 午後診療 | 宗像先生 |
| 8日(木) | 午後診療 | 宗像先生 |
| 15日(木) | 早朝診療 | 西堀先生 |
| 29日(木) | 午後診療 | 宗像先生 |
| 30日(金) | 午後診療 | 宗像先生 |

木曜日の午前診療は西堀先生です。